

ワンナイトステイ



国際交流基金日本語国際センターでは、海外で活躍する外国人日本語教師のための研修事業を実施しており、世界各国から年間約500人の研修生が訪れ、日本語や日本文化などを学んでいます。ワンナイトステイ事業は、その研修の一環で、日本の生活を1泊2日体験するというものです。

1 ホームステイ受入対象者

日本語国際センターの研修参加者（海外日本語教師）です。

研修生の国籍（米国、英国、韓国、中国、タイ、オーストラリア、インドネシア、ロシアなど）は、研修プログラムごとに様々です。

2 ホームステイ受入宿泊期間

ワンナイトステイは、1泊2日（土～日）が基本です。年末・年始には、2泊以上のプログラムがあります。

※ 年間10程度のプログラムがあります。

3 受入家庭の条件

- (1) 市内在住で、宿泊用に1部屋提供できること。（研修参加者は、原則として、1家庭に1人をご紹介しています）
- (2) 家族で受け入れができること。
- (3) 参加研修生の宗教上の理由による食事の制限、動物、お祈り等についてご理解をいただけること。

4 申込み方法及び受入家庭の登録

- (1) 「受入家庭登録申込書兼紹介書」に必要事項を記入し、市役所市民参加推進課に提出（FAX 可：981-5682）してください。随時受付をしています。
- (2) 受け入れ家庭の登録情報は、年度ごとに更新していただきます。
※ ワンナイトステイ事業は、県内全域で実施しているため、登録後しばらくの間受け入れ依頼がない場合もありますので、ご了承ください。

5 受入依頼

市役所から、受入れの2～3週間前に登録されている家庭へ電話でご案内をします。受入れ可能であれば、正式に受入れ依頼を文書にて郵送します。

6 送迎

受入れ当日（土曜日）は、「日本語国際センター」（さいたま市浦和区北浦和 5-6-3 北浦和駅下車、徒歩8分）に研修生を迎えに行ってください。

帰館（日曜日）は、原則21時までに日本語国際センターに帰館させてください。（吉川駅（最寄駅）まで送っていただければ結構です。）

7 受入時の対応

日本の生活様式を体験するために実施するものなので、特別な対応は必要ありません。ただし、生活様式や宗教の違いから、動物が苦手だったり、食事制限があったりする研修生については、事前にお知らせします。

8 謝礼

日本語国際センターが、受入れ家庭に対して謝礼金（1泊につき5,000円）を支払います。

9 保険

日本語国際センターが、研修生の宿泊先における不慮の事故、病気等に備えるため、研修生に対する傷害保険に加入しています。

お問合せ

吉川市役所 市民参加推進課
男女共同参画・文化交流担当
電話：982-9685（直通）
FAX：981-5682